

## 常陸太田「葡萄の話」

常陸太田市は、巨峰ブドウの生産が盛んに行われています（茨城県内で第1位の栽培面積・収穫量）。また、近年では、常陸太田オリジナルの品種である「常陸青龍（ヒタレリュウ）」が生まれています。

ブドウとは

学名： *Vitis spp.*

英名： Grape

分類：ブドウ科ブドウ属

原産地：中近東地方

用途：果実はそのまま生食されるほか、乾燥させてレーズンに、また、ワインやブランデーなどのアルコール飲料、ジュース、ゼリー、缶詰の原料となる。

主産地：山梨県、長野県、山形県



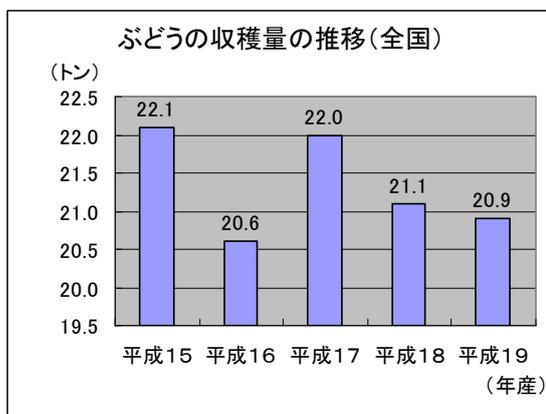
### ぶどうの歴史

ブドウの歴史は紀元前4000～3000年と古く、古代エジプトの壁画にも栽培の様子が描かれています。日本へは、中近東地方から古代ヨーロッパ、その後シルクロードを横断して中国へ、そして奈良時代に中国から日本に伝わったといわれています。ただし、現在栽培されている品種は、ぶどうの祖先といわれる「ヨーロッパブドウ (European grape)」と「アメリカブドウ (Fox grape)」を交配※したものが元で、明治時代に入ってから本格的に栽培が行われるようになりました。

※ 交雑と交配 … 種を超えての掛け合わせを交雑、同じ種の中で掛け合わせを交配といい、交雑(種)はハイブリッド (hybrid)、交配(種)はクロッシング (crossing) と呼ばれる。

### 全国のぶどうの生産状況と品種構成

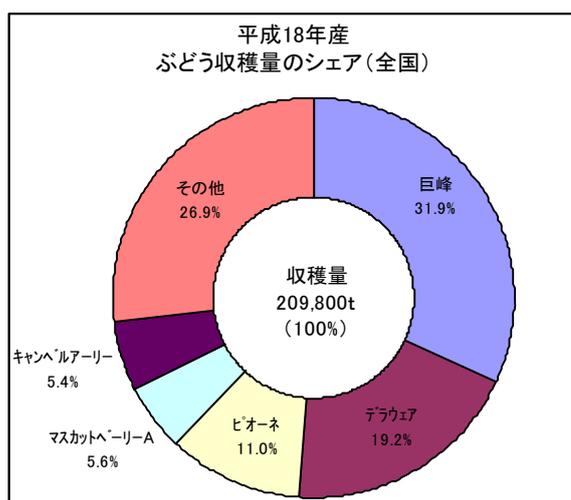
ブドウは施設栽培が普及し、市場に流通する期間が長くなっています。また、生果も年間200万トンが輸入されており、旬を知るのが難しくなりましたが、本来ブドウが実るのは秋です。主産地は山梨、長野、山形、北海道、福岡、岡山です。茨城県の生産量は主産地と比べて多くはないが、常陸太田市のブドウの生産量は県内一となっています。



#### 【収穫量 (H18)】

山梨 :	51,400 t
長野 :	30,300 t
山形 :	21,200 t
茨城 :	1,950 t
常陸太田市 :	438 t

資料：農林水産統計より



#### 【品種別収穫量】

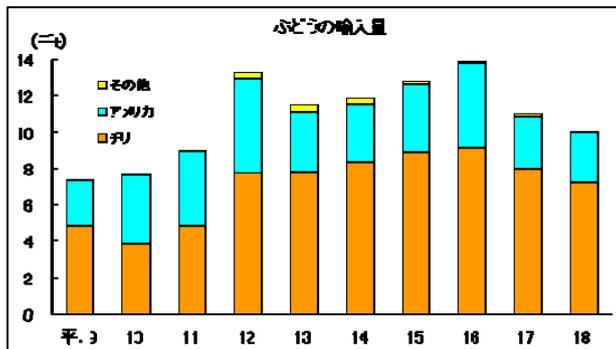
ぶどう計	209,800 t
巨峰	66,900 t
デラウェア	40,300 t
ピオーネ	23,000 t
マスカットベリーA	11,700 t
キャンベルアーリー	11,400 t
茨城 (H18)	
ぶどう計	1,950 t
巨峰	1,670 t
常陸太田市 (H18)	
ぶどう計	438 t
巨峰	410 t

資料：農林水産統計より

## ぶどうの輸入量

平成 18 年のぶどうの輸入量は 9,949 トンとなっています。チリ (72%) とアメリカ (27%) からの輸入がほとんどを占めています。

ぶどうは、世界中で 1 番生産量が多い果物です (平成 17 年で 6,653 万 t)。日本では生食することが多いですが、世界的にはワインなどの醸造用に使用されることが多いようです。



資料：財務省貿易統計より

## ぶどうの品種あれこれ

ブドウの品種はとても多く、世界には 5 千種以上のブドウが存在するといわれています。このうち日本では主に 30~40 種類が商業栽培されています。

### ◆生食用の主要品種

日本では古くから甲州ぶどうなどが栽培されていましたが、明治時代に欧米から多数の品種が導入され、ヨーロッパぶどうとアメリカぶどうの雑種であるデラウェア、キャンベルアーリーなどが栽培されるようになりました。今では改良が進み、多数の品種が誕生しています。

生食用品種では、マスカット・オブ・アレキサンドリアを改良した、ネオマスカットや甲斐路、4 倍体大粒種の巨峰、ピオーネ、オリンピック、高尾、安芸クイーン、ハニーブラックなどが、路地と施設で栽培されている。

### ◆醸造用の主要品種

醸造用品種は、カベルネ・ソービニオン、メルロー、リースリングなどのヨーロッパ種が中心だが、甲州、デラウェアのほか、川上善兵衛の育成品種や山梨県で改良された品種が栽培されている。また、山梨県や岩手県に自生しているやまぶどうから優良系統が選抜され、ワイン用として開発されている。

### ◆そのほかの主要品種

果汁用ではコンコードが有名だが、ナイアガラ、ベリーA、キャンベルアーリーなどが用いられている。レーズン (乾果) はカリフォルニアなどから年間 3 万トンが輸入されているが、種子無なしのトムソン・シードレス、ブラックコリンスなどが使われている。

## ブドウの栄養と効能

◆主な栄養成分 (可食部 100g 中) …カリウム (130mg)、ブドウ糖 (7g)、果糖 (8g)

◆注目成分…アントシアニン、レスベラトロール (赤ブドウ)

◆主な効能…疲労回復、視力改善 (赤ブドウ)、高血圧予防、動脈硬化予防、心筋梗塞予防、脳梗塞予防、がん予防

ブドウの皮には、視力回復や活性酸素の除去に効果がある「アントシアニン」が多く含まれます。アントシアニンはポリフェノールの一種で、悪玉コレステロールの発生を防ぎ血液をキレイにする働きがあるといわれています。そのため、動脈硬化やがん予防にも期待ができます。また、果実に多く含まれるブドウ糖や果糖は疲労回復に効果があるので暑い夏のエネルギー補給に最適です。

## 美味しいブドウの見分け方

実の部分に張りがあり、軸が太く青いものが良い。果皮に白っぽい粉のようなものが付着していますが、これは水分の蒸発を防ぐための「ブルーム」というものです。ブルーム (bloom、果粉) とは、果物や野菜の果実における、果皮表面の白い粉状の蠟物質。熟した新鮮な果実によく見られる物で、果実から自然に分泌されている天然物質の為、人体には無害で、この粉がまんべんなく付いているブドウは鮮度が良い証拠です。果皮の色は、実の色が黒や褐色のブドウは色が濃いもの、緑系のブドウは黄色っぽいものが、実が熟している色です。



### 常陸太田巨峰のはじまり

常陸太田市の営農改善策として、果樹の導入が計画され、当初（昭和30年）はモモ（布目・倉方早生）の栽培が始まりました。そのようななか、昭和34年から増井町などで試作が始まり、36年に3本の巨峰苗木に「立派なブドウ」が結実したことで「常陸太田巨峰」の生産が始まりました。

そこで、昭和36年新農村建設事業の導入により、巨峰栽培の推進が開始され、38年常陸太田ぶどう組合が結成されると同時に、県普及所はその中心である長尾集落を営農指導センターに指定し、以後4年間栽培技術の確立と産地の育成に取り組みました。

さらに、昭和43年観光果樹園を開始、46年山間急傾斜地土地改良事業、48年果樹団地育成事業、52年自然休養村事業等を導入して、巨峰団地造成と併せて道路網が整備され、観光果樹地帯としての基盤ができました。

平成20年度現在、常陸太田市内では、JA茨城みずほ常陸太田ぶどう部会68名、JA茨城みずほ水府地区ぶどう生産部会12名が巨峰の栽培を行っています。農林水産統計によると、平成18年産の市内のブドウの栽培面積は68ヘクタール、収穫量438トンとなっており、そのうち巨峰の栽培面積は63ヘクタール、収穫量410トンで、9割以上が巨峰の生産となっています。

### ブドウが育つ環境(常陸太田市)

茨城県の北部、水戸から北へR349号を20キロほど行くと常陸太田市にはいります。阿武隈山地の南端に位置する水はけの良い丘陵地、カルシウムやミネラル分を多く含む土質。そんな環境が、おいしい葡萄をたわわに実らせてくれます。



### 施設化による効果～収穫時期の拡大・高品質生産へ～

常陸太田市では巨峰の露地栽培が以前から主でありましたが、近年、急速に雨よけハウスや無加温ハウスなどに施設化することにより、収穫時期の拡大や多様な品種栽培の取り組みが進んでいます。

露地栽培の巨峰は、年間で収穫販売できる期間が、9月以降に収穫が始まり10月上旬にはほぼ収穫終了するため販売期間が短く、天候にも左右されやすいため、安定した販売や品質の向上が大きな課題となっていました。

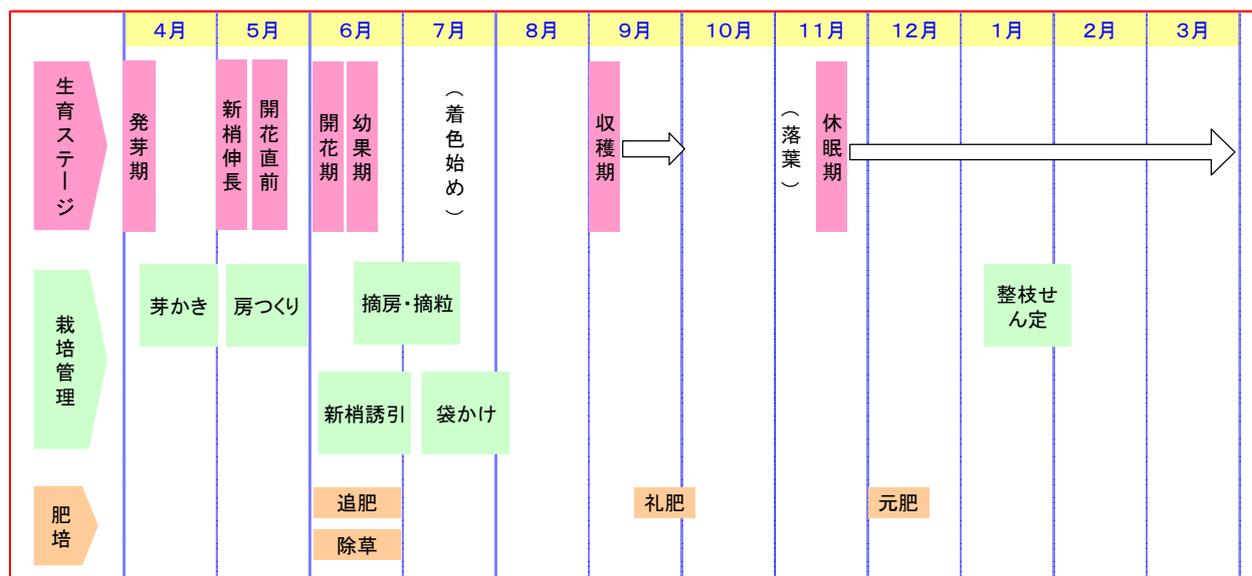
露地栽培では9月によやく収穫が可能となりますが、雨よけハウスや無加温ハウスへの施設化することにより、収穫時期が早まり、8月上中旬から収穫でき、お盆需要にも対応できるようになっています。また、施設化することで、結実の安定が図られるほか、雨媒伝染性病害を防ぐことができ、防除回数の削減、省力化につながる大きな効果も得られることが分かってきました。その他にも、収穫期の分散、労力の分散化や安定生産、販売期間の拡大につながるため、急速に施設化が進んでいます。

市内のぶどう農家では、消費者に少しでも長い期間葡萄を味わってもらうため施設化に取り組むと共に、いろんな種類を味わいたいという消費者の要望にこたえるため、巨峰だけでなく欧州系品種やオリジナル品種の栽培など露地栽培では難しい品種にも取り組んでいます。安全安心で美味しい葡萄を消費者に届けるため、ぶどう農家は日々挑戦し続けています。



写真：ビニールで覆う前の雨よけハウス

## 葡萄ができるまで【巨峰露地】



- 芽かき** …ぶどうの芽は1節に大小の芽が伸び、そのままでは枝が混みあい良いぶどうに育ちにくい為、小さい芽だけを取ります。この芽かきは生育状況にあわせて2～3回行ない養分の分散をなくします。
- 誘引** …ぶどうの枝を棚に取り付ける作業です。放置してジャングル状態になることを防ぎ、均一に日当たりが良くなるよう取り付けます。ぶどうの枝の先端を切る摘心という作業を行い、枝の成長を止めることも行ないます。
- 房づくり**…果房の大きさを制限して形を整える作業です。
- 摘房** …房の数を少なくして適度な数に調整する作業です。2～3回に分けて、最終的には巨峰1房あたり新梢長は2m（葉枚数で30枚）が目安です。この作業を行い養分の分散を防ぎ、しっかりと成熟させ、さらに質の良いぶどうに仕上げるのが狙いです。
- 摘粒** …ぶどうのいらぬ粒を一粒ずつ取り除いていき、全部で70～80粒ほどの房の粒を35粒程度にします。その様な手間のかかる作業をすることによって粒の揃った美味しいぶどうが出来上がります。
- 袋かけ** …一房一房に袋をかぶせます。果面の汚れ防止、ハチ、ヤガ、鳥害の軽減をし、商品価値を高める効果があります。
- 整枝せん定**…ノコギリやハサミで枝を切る作業で、ぶどう栽培においては一番重要なポイントです。主枝や亜主枝の配置や数の制限を行ったり、側枝更新、あるいは間縮伐、樹勢の調整や予備枝づくり、細部での受光体制を整えます。また、結実数の制限の役割もあります。

ぶどうの栽培は、両腕を上げて行なう作業が多く大変な重労働ですが、いずれの作業も美味しく高品質な葡萄作りには欠かせない重要な作業です。上記スケジュールは露地栽培の巨峰の場合であり、ハウス施設の場合は生育が露地栽培よりも前進するため、作業も早めに行う必要があり、巨峰以外の品種など生育状況に合わせて管理を行う必要があります。

## ぶどう(巨峰)の花

ぶどうの花を見たことがある人は少ないかもしれませんが、あまり知られていませんが右の写真が巨峰の花で、もう立派なぶどうの形をしています。分かりづらいですが、これで満開です。これから房の形を整えたり、粒数を調整したりします。

巨峰などの一般のぶどうは、自家受粉するので一本の木でも実を結びます。ぶどうの中には、山ぶどうのように雄株と雌株が別々で、一本の木では実を結ばない種類もあります。



### 招かざる客からぶどうを守れ！

ぶどうの生産は山際の傾斜地を利用して栽培している畑が多く、周囲には自然豊かな緑あふれる風景があり、様々な野生動物も生存しています。毎年シーズンになるとたくさんの観光客がぶどう園を訪れますが、ぶどうの甘い香りに誘われるのか招かざる客も訪れるようになります。なかでも、ぶどうの農家を悩ませているのが、ハクビシンです。ハクビシンの葡萄の食べ方は、かぶせてある袋を破き、ぶどうの皮だけ地面に捨てて食べていきます。一年間苦勞して育て、収穫間際のぶどうを食い荒らされてしまうので、生産者たちは、ぶどう園の周りをを網で囲うなど奮闘が続きます。



写真：ハクビシンのぶどう被害状況

### ぶどうの栽培を教材に

市内のぶどう園の中には、ぶどう栽培の農業体験を受け入れている生産者もいます。学校の職場体験として子供たちに葡萄作りの農業体験が行われることもあります。また、消費者との交流のなかで農作業の体験を受け入れたこともあります。

ぶどうの栽培管理に追われているなかで、農業体験を受け入れている生産者は、消費者と交流することで、自分がつくったぶどうを笑顔で食べてくれていることを考えると、どんなつらい労働でもがんばれると言います。参加した子供たちは、農産物をつくるのがどんなに大変で苦勞があるか学び、食べ物の大切さを実感できることが期待されます。

ぶどう農家のみなさんは、ぶどうの栽培に興味をもった若い世代から、将来本当にぶどう栽培に就いてくれるのを夢見て、目を細めているのかもしれない。



### 贈り物にも最適

地方発送（宅配）も取り扱っていますので、贈り物にも大変好評です。



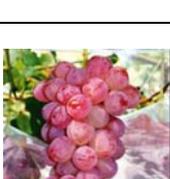
【巨峰2kg】



【巨峰・常陸青龍詰め合わせ】

## 常陸太田市のぶどう品種紹介

ここでは栽培されている品種の特徴や食べ方と、市内で主に収穫される時期をご紹介します。

	<p>品種名: <b>巨峰</b></p> <p>特徴: 「石原早生」と「センチニアル」を交配したもので、1945年(昭和20年)に命名。今では黒ぶどうの定番品種となっています。果皮が濃い紫黒色をしていて、果肉は淡い緑色。締まりがある果肉は甘さも十分、果汁も多く優れた食味です。「種なし巨峰」も生産されるなど、市内で生産されるぶどうの9割以上を占めています。</p> <p>食べ方: 皮をむいて食べます。</p> <p>時期: ハウス等施設 8月中旬～ / 露地 9月上旬～10月上旬</p>
	<p>品種名: <b>常陸青龍</b></p> <p>特徴: 市内でもともとブドウ栽培を行っていた本多勇吉氏が巨峰の自然交雑実生から育成した黄緑色のブドウ(初結実は昭和53年)で、孫の本多技研氏が平成16年3月に「常陸青龍」として品種登録された常陸太田オリジナルのぶどうです。果実の色は黄緑色で、巨峰と比べて糖度が高く、酸味や渋みが少ないのが特徴です。</p> <p>食べ方: 皮をむいて食べます。</p> <p>時期: ハウス等施設 8月上旬～中旬</p>
	<p>品種名: <b>シナノスマイル</b></p> <p>特徴: 高墨の自然交雑実生から生まれた品種で、果房が大きく、甘みの強いぶどうです。果皮が厚く、日持ちが優れているのが特徴で、贈答用にも最適です。</p> <p>食べ方: 皮をむいて食べます。</p> <p>時期: ハウス等施設 8月下旬～9月上旬</p>
	<p>品種名: <b>ニューナイ</b></p> <p>特徴: 欧州種のぶどうで、粒の形が長く、果実の色は黄緑色で、糖度は他の品種と比べるとあまり高くないが、酸味が少ないのであっさりした食味が特徴です。</p> <p>食べ方: 皮ごと食べられます。</p> <p>時期: ハウス等施設 9月上旬</p>
	<p>品種名: <b>赤嶺</b></p> <p>特徴: 甲斐路から枝変わりした早熟の品種。完熟すると紫紅色になり極めて糖度が高いのが特徴です。</p> <p>食べ方: 皮をむいて食べます。</p> <p>時期: ハウス等施設 9月中旬頃</p>
	<p>品種名: <b>ハイペリー</b></p> <p>特徴: 糖度が高く、微弱なマスカット香があり、スカッとした甘さが特徴です。果皮はやや厚く皮離れは他の品種に比べると難ですが、パリッと皮も食べられる。果梗は強く脱粒なく日持ち良好。</p> <p>食べ方: 皮ごと食べられます。</p> <p>時期: ハウス等施設 9月中旬～</p>
	<p>品種名: <b>マヌキアフィンガー</b></p> <p>特徴: 「ユニコーン」と「バラディ2号」を交配した品種です。果粒が楕円形で、付け根が黄色く先端が赤く染まるのが名前の由来になっています。適度な酸味と甘みがありパリッとしたさわやかな食感が特徴です。</p> <p>食べ方: 皮ごと食べられます。</p> <p>時期: ハウス等施設 9月上旬</p>
	<p>品種名: <b>ロザリオビアンコ</b></p> <p>特徴: 「ロザキ」と「マスカット・オブ・アレキサンドリア」を掛け合わせたもので、1987年(昭和62年)に品種登録されました。やや楕円形の大粒ぶどうで、果皮は薄く薄緑色で皮ごと食べられます。酸味は少なく多汁で、上品な甘みがあり、人気があります。</p> <p>食べ方: 皮ごと食べられます。</p> <p>時期: ハウス等施設 9月中旬～</p>
	<p>品種名: <b>ロザリオロッソ</b></p> <p>特徴: ロザリオビアンコとルビーオクヤマ5号を掛け合わせたもので、やや楕円形で適度な甘さと、マスカットの香りがします。やや紫色を帯びた鮮紅色で、大粒のぶどうです。果皮は厚めで果肉はやや締まっており、果汁が多く甘みの強いのが特徴です。</p> <p>食べ方: 皮をむいて食べます。</p> <p>時期: ハウス等施設 9月上旬～</p>



# 常陸太田オリジナル品種

## ひたちせいらゆう 「常陸青龍」



### ●「常陸青龍」の品種特性

- ・果実の色は黄緑色。
- ・巨峰と比べて糖度が高く、酸味が少ない。
- ・渋みが少ない。
- ・果房重450～500グラム前後。
- ・ハウス施設栽培では、8月上中旬に成熟
- ・露地栽培では9月上旬に成熟する中生種
- ・ハウスなどの施設栽培で肥大性に優れる。

### ●JA茨城みずほ常陸太田ぶどう部会の概要

部会長：椎名尚志

部会員数：68名

栽培面積：31ヘクタール（うち常陸青龍は約1ヘクタール）

その他：県内一のぶどう産地。巨峰を中心に欧州系品種、常陸太田オリジナル品種の常陸青龍を栽培している。直売やぶどう狩りが主流。

### ●「常陸青龍」の生い立ち

この品種は、市内でもともとブドウ栽培を行っていた本多勇吉氏が巨峰の自然交雑実生から育成した黄緑色のブドウ（初結実は昭和53年）で、孫の本多技研氏が平成16年3月に「常陸青龍」として品種登録された。

JA茨城みずほ常陸太田ぶどう部会において、高品質安定生産のため、ハウス施設の導入が急速に広がり、それに伴い「常陸青龍」の生産拡大が進んでいる。

### ●問い合わせ先

◇茨城みずほ農業協同組合（常陸太田ぶどう部会事務局）

〒313-0116 茨城県常陸太田市大方町1701番地

TEL 0294-70-3488/FAX 0294-76-2224

◇常陸太田市産業部農政課

〒313-8611 茨城県常陸太田市金井町3690番地

TEL 0294-72-3111/FAX 0294-72-0288

